

平成31年度当初予算案

ぐんまの未来実現予算



平成31年2月7日(木)

群馬県

平成31年度群馬県当初予算(案)

総額 7,511億2,000万円 +2.5%

平成30年度予算額(7,329億8,000万円)に対し、181億円の増

- 平成31年度は、総合計画「はばたけ群馬プランⅡ」の最終年度であり、3つの基本目標の実現に向け、積極的に取り組む。
- 厳しい財政状況にあっても、未来への投資を着実に進め、群馬らしさを活かした豊かな社会の実現に向けた『**ぐんまの未来実現予算**』を編成。

基本
目標

1 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

2 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

3 産業活力の向上・社会基盤づくり

平成31年度当初予算の重点施策

1. 「Gメッセ群馬」の完成と新たな産業・雇用の創出

2. ハッ場ダム完成を見据えた生活再建の推進

3. 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

- ・桐生・みどり地区新高校整備
- ・介護人材確保対策
- ・医師確保対策
- ・東部児童相談所・一時保護所の整備
- ・藤岡特別支援学校整備
- ・障害者差別の解消
- ・障害者雇用の促進

4. 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

- ・緊急的な防災・減災対策
- ・防災航空体制の再整備
- ・認知症施策の推進
- ・高齢者施設等の整備への支援
- ・有害鳥獣対策

5. 産業活力の向上・社会基盤づくり

- ・外国人材の活躍推進
- ・交通まちづくり戦略
- ・農畜産物等輸出促進
- ・蚕糸業の活性化
- ・群馬デスティネーションキャンペーン
- ・世界遺産登録5周年記念
- ・ぐんまの寺社魅力発掘・発信
- ・オリンピック・パラリンピック等推進

1 「Gメッセ群馬」の完成と新たな産業・雇用の創出

コンベンション施設整備

168億8,178万円

本県の優れた拠点性を活かして、県内産業のさらなる発展や新たな産業の創出、若者や女性の雇用創出を図るため、**群馬コンベンションセンター「Gメッセ群馬」**について、**2020年春の開所に向け、整備を進める。**

(施設概要)

- ・北関東最大となる10,000㎡の展示施設
- ・最大17室の会議施設
- ・20,000㎡を超える大型屋外展示場



群馬コンベンションセンター「Gメッセ群馬」イメージ図

コンベンション推進

1億720万円

コンベンション開催による県経済の活性化を図るため、**コンベンションの誘致・広報**や**観光地への周遊促進**を実施。

- | | |
|-------------------|---------|
| ・Gメッセ群馬開業準備 | 8,267万円 |
| ・コンベンション誘致 | 1,000万円 |
| ・コンベンションビューロー活動推進 | 1,453万円 |

コンベンション関連産業参入支援

2,053万円

県内事業者の受注獲得に向けた取組を強化するとともに、**コンベンション産業支援資金**を創設し、中小企業者の施設・設備整備等を支援。

- | | |
|------------------|---------|
| ・マッチング支援 | 1,553万円 |
| ・(新)群馬のプラスワン応援事業 | 500万円 |
- コンベンション開催による経済効果を高めるため、主催者が行うエクスクーション費用の一部を補助
- ・(新)コンベンション産業支援資金 融資枠20億円

2 ハツ場ダム完成を見据えた生活再建の推進

ハツ場ダム関連

191億8,847万円

平成31年度の完成に向けて本体工事が進められているハツ場ダムについて、生活再建に向けた事業を着実に推進。



ハツ場ダム本体工事

●ハツ場ダム関連負担金 19億9,623万円
国直轄事業負担金、水源地域整備事業負担金、基金事業負担金

●ハツ場ダム関連事業

- ①生活再建に向けた取り組み 161億8,724万円
 - ・水源地域整備 63億3,626万円
町道整備にかかる長野原町への交付金、
長野原町のスポーツ公園整備にかかる県受託事業など
 - ・ハツ場ダム基金事業推進 95億5,609万円
長野原町の川原湯地域振興施設整備事業にかかる町への
交付金及び県受託事業など
 - ・水源地域生活再建対策 1,852万円
川原湯温泉宿泊助成、観光PR活動等

ほか

- ②付替道路及び周辺インフラ整備 10億 500万円
大柏木トンネルの一般供用のための覆工工事 ほか

3 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

桐生・みどり地区新高校整備

15億3,775万円

少子化が進む中、教育の質の維持・向上や学校の活性化のため、**桐生高校と桐生女子高校、桐生南高校と桐生西高校を統合。**

2021年4月の開校に向けて、必要な整備を実施。

<スケジュール>

2018年度	基本・実施設計
2019～2020年度	本体工事
2021年4月	開校



桐生高校(桐生女子高校と統合)

桐生西高校(桐生南高校と統合)



介護人材確保対策

1億3,033万円

中高年齢者等の**介護未経験者に対する介護職への入門的研修**や技能実習生等の**外国人に対する日本語学習支援**を行うなど、介護人材の参入促進、定着支援、資質向上の視点で介護人材確保対策を実施。

●参入促進	3,919万円
・介護福祉士修学資金等貸付	1,202万円
・(新)介護に関する入門的研修支援	255万円
・(新)外国人向け介護の仕事見学バスツアー	53万円 ほか
●基盤整備(介護人材確保対策会議)	20万円

●定着支援	3,912万円
・介護ロボット導入支援	2,060万円
・(新)外国人介護人材受入環境整備	212万円 ほか
●資質向上	5,182万円
・現任介護職員キャリアアップ支援	1,400万円
・ぐんま認定介護福祉士養成	1,085万円 ほか

医師確保対策

4億1,166万円

県内出身の県外医学生を、県内の臨床・専門研修に誘導するための**新たな修学資金制度を創設**するなど、**医師の県内定着と地域や診療科における偏在解消**のための総合的な取組を推進。

●医師の県内定着と偏在解消 3億402万円

- ・(新)医学生修学資金貸与 1,200万円
県内出身の県外医学生5、6年生に修学資金を貸与し、県内の臨床研修や専門研修に誘導
- ・緊急医師確保修学資金貸与 2億127万円
(群大医学部地域医療枠・109人分)
- ・地域医療支援センター運営 9,075万円
群馬大学と連携した若手医師のキャリア形成支援や適正な医師配置に向けた取組を実施

●臨床研修病院支援と研修医確保 1,749万円

- ・(一部新規)ぐんまレジデントサポート推進 1,731万円 ほか
新規採用医師等が一堂に会する合同オリエンテーションを県医師会と共同で開催 など

●特定診療科対策 7,515万円

- ・医師確保修学研修資金貸与 4,320万円
- ・産科医師等確保支援事業 3,195万円

●女性医師等就労支援 1,500万円

東部児童相談所・一時保護所の整備

9億9,215万円

手狭となっている**東部児童相談所を移転整備して相談体制を強化**するとともに、**一時保護所(定員30名)を新たに併設**することで、中央児童相談所一時保護所における定員超過を解消。

(2020年4月開所予定)

<スケジュール>

- 2018年度 実施設計・建設工事
- 2019年度 建設工事
- 2020年4月 開所



東部児童相談所 外観

現在仮設校舎で生徒を受け入れている藤岡特別支援学校高等部について、**2020年4月から新校舎で生徒を受け入れるため、校舎及び体育館を整備。**



藤岡特別支援学校 パース図

障害者差別の解消

779万円

障害者が進行役を務める障害への理解を促進する研修の開催や、ヘルプマークの普及啓発、差別事案解決のための相談窓口の設置など、**障害の有無にかかわらず、お互いを尊重し、地域で支え合いながら、安全に安心して共に暮らせる環境づくり**に取り組む。



ヘルプマーク使用例

障害者雇用の促進

2億6,027万円

障害者の就労先・実習先の開拓や、農業者と障害者施設のマッチングを行う相談窓口の設置等による**農福連携の推進**などに取り組み、障害者の雇用を促進。

- ・障害者雇用促進強化対策 4,774万円
障害者の就労先・実習先の開拓、障害者雇用啓発リーフレットの作成 など
- ・工賃向上・農福連携推進 2,795万円
- ・障害者就業・生活支援センター運営 5,408万円
- ・障害者の職業訓練 2,231万円 ほか

4 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

緊急的な防災・減災対策

346億940万円

局地的集中豪雨や台風などによる自然災害の未然防止や被害軽減を図るため、国の緊急対策を積極的に活用して、防災・減災対策を集中的に実施。

- ・水害対策(河川改修、堆積土除去・伐木 など) 53億9,000万円
- ・土砂災害対策(土石流対策、治山 など) 111億1,300万円
- ・道路防災(落石対策、無電柱化、冠水対策 など) 175億2,000万円
- ・農業水利施設防災(ため池・農業水利施設改修) 5億8,640万円



流木対策



河川改修

財政調整基金の確保

災害発生時等の緊急的な財政出動に備えるため、財政調整基金の残高を15億円確保。

(H30当初 11億円)

防災航空体制の再整備

8,510万円

(H30.2月補正 債務負担行為29億5,647万円)

防災航空体制の再整備のため、**安全装備品を充実させた防災ヘリコプターの新機体導入を進める。**新機体の本格運航までは、**県警や他県の防災ヘリ等との連携により、県内の防災航空体制を維持。**

認知症施策の推進

5,879万円

専門職の配置による認知症疾患医療センターの相談機能の強化や若年性認知症支援コーディネーターの設置箇所の拡充など、認知症施策の更なる推進を図る。

- ・(新)認知症本人支援コーディネート業務委託 900万円
認知症疾患医療センターに介護支援専門員等の専門職を配置し、相談機能を強化
- ・若年性認知症支援コーディネーター設置 422万円
設置箇所の拡充(4か所→14か所)
- ・認知症疾患医療センター運営事業委託 2,902万円 ほか

高齢者施設等の整備への支援 26億1,259万円

特別養護老人ホーム(多床室)のプライバシー保護のための改修に対して新たに補助するとともに、老朽化が進む施設の大規模修繕を図るための補助枠を拡充。

- 地域密着型介護拠点等整備 21億6,199万円
 - ・地域密着型特養、グループホーム ほか 13億5,038万円
 - ・開設準備経費 7億4,381万円
 - ・(新)プライバシー改修 6,780万円
- 老人福祉施設整備費補助 4億5,060万円
 - ・広域型特養整備 3億2,060万円
 - ・大規模修繕 1億3,000万円
(H30比 +3,000万円)

有害鳥獣対策

8億4,671万円

農林業被害の軽減や市街地出没を抑制するため、鳥獣保護区内での捕獲や侵入防止柵の設置に対する支援、有害鳥獣の移動経路となっている河川の伐木、刈り払いの集中的な実施など、関係者が連携しながら対策に取り組む。



住民主体の侵入防止柵の設置



わなによる捕獲

5 産業活力の向上・社会基盤づくり

(新)外国人材の活躍推進

1億7,946万円

外国人住民の生活相談等に対応するための総合相談窓口の開設や、留学生や技能実習生等の実態調査、就労・生活情報の多言語発信など、**外国人材の受入れ環境整備**や**外国人材が群馬県で暮らしていくための支援**を実施。

●多文化共生総合相談窓口の設置・運営 2,898万円
(うちH30.2月補正1,000万円)
外国人の生活・就労等に関する情報提供や相談を多言語で行う多文化共生総合相談窓口を開設

●「群馬に外国人材を呼び込む」プロジェクト 1,627万円
市町村向けの支援(研修会開催、受入マニュアル作成等)、都内で外国人留学生等を対象とした県内就職のための合同企業説明会を開催 など

●帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援 9,424万円
公立学校における受入体制の整備・初期指導体制の充実

ほか

交通まちづくり戦略

2億2,728万円

「自動車以外の移動手段も選択できる社会」への転換を図るため、バスロケーションシステムの導入検討や県内路線バスへの交通系ICカードの導入支援、路線バスの自動運転実証実験などを実施。

・バスロケーションシステム導入検討 1,368万円
・交通系ICカードの県内路線バス導入 7,967万円
・(新)路線バス自動運転実証実験 2,000万円
・(新)広告付きバス停上屋モデル整備 810万円
・東毛広域幹線道路BRT構想調査等 7,300万円
・(新)集客施設における公共交通の利用促進 15万円
前橋駅～ベイシア文化ホール間で路線バス運行の社会実験を実施

ほか



自動運転実証実験予定車両
(群馬大学所有)

農畜産物等輸出促進

4,540万円

輸出に取り組む生産者を育成するとともに、欧州及びオーストラリアでの上州和牛カッティングセミナーや、東南アジア向け青果物等の輸出促進、**ジェットロと連携した生産者の支援等を実施。**



マレーシアでの知事トップセールス

蚕糸業の活性化

4億6,656万円

本県の伝統産業である**蚕糸業の活性化**を図るとともに、遺伝子組換えカイコ(GMカイコ)の普及拡大を進めるため、**稚蚕人工飼料センターの機能強化やGMカイコの実用化研究**を行う。



繭出荷の様子



遺伝子組換えカイコの繭

群馬デスティネーションキャンペーン

1億1,988万円

2020年4月から6月に開催する「**群馬デスティネーションキャンペーン(DC)**」に向け、**2019年4月から6月にプレDCを開催**するなど、広報宣伝、誘客対策、受入体制整備を推進。

また、**群馬デスティネーションキャンペーン等支援資金を拡大**し、積極的に誘客に取り組む中小企業者を支援。



ググっとぐんま観光キャンペーン オープニングセレモニー

(新)世界遺産登録5周年記念

195万円

「富岡製糸場と絹産業遺産群」について、構成市町・団体などと連携し、**世界遺産登録5周年を記念した式典等を実施。**



富岡製糸場



高山社跡



田島弥平旧宅



荒船風穴

(新)ぐんまの寺社魅力発掘・発信

3,138万円

装飾建築の宝庫である本県の近世**寺社の魅力**を**発信**するため、寺社建物や民俗芸能等の調査を行い、DCに向けて、寺社周遊パンフレット・アプリを作成。



榛名神社



妙義神社

(新)オリンピック・パラリンピック等推進

9,498万円

東京2020オリンピック・パラリンピック開催に伴う**聖火リレー**を実施するとともに、**キャンプ地**となる**県内市町村**が**実施する相手国との交流事業**を支援。

- ・聖火リレーの実施・運営 9,298万円
- ・相手国との交流事業を実施する市町村への補助 200万円
補助額:実施経費の1/3(上限50万円)



東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグ歓迎イベント

群馬の未来を創生するための主な体制整備

1. 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

経済・社会活動の支え手として、外国人が活躍できる社会づくりのための体制整備

・「外国人活躍推進課」の設置 (企画部)

新たな在留資格の創設に伴い、今後、様々な分野で活躍が期待される外国人材について、県内への受入促進や共生のための環境を整備するため、県の一元的な窓口として、企画部に「外国人活躍推進課」を設置

2. 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

災害や事故など、万一の危機の発生に備え、迅速な対応を可能とするための体制整備

・「防災航空センター」の設置 (総務部)

防災ヘリコプターの運航再開に向けた安全運航体制の整備に取り組むとともに、受援体制を維持・強化するため、群馬ヘリポート内に「防災航空センター」を設置

3. 恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上・社会基盤づくり

群馬の強み・魅力を活かした産業活力の向上と群馬のイメージアップを実現するための体制整備

・「環境森林部」の再編 (環境森林部)

「林業県ぐんま」の実現に向け、林業を取り巻く環境の変化に対応するため、部内の組織体制を再編これに伴い、環境森林部を「森林環境部」に改称
多様化する環境問題に適切に対応し、引き続き施策を着実に推進するため、森林環境部に「環境局」を設置

・「スポーツ局」の設置 (生活文化スポーツ部)

国体の開催に向けた準備等を着実に進めるとともに、スポーツ施策を更に総合的に推進するため、生活文化スポーツ部に「スポーツ局」を設置

・「外国人活躍推進課」の設置 (企画部) 【再掲】